

チェック1

ガス機器を安全にお使いいただけるよう、ガス機器とガスの種類とが合っているか確認し、注意喚起に努めています。



ご家庭の皆様へ
ガス安全使用のお願い

リフォーム、お引越しの時

ガス機器には、適合するガスの種類を示したラベルが貼られています

ガスの種類は、住んでいる地域によって異なる場合があります。引っ越しなどでほかの地域に行くと、それまで使用していたガス機器が使えないことがあります。ガス機器がガスの種類とあっていないと、正常な燃焼をせず、事故の原因となり、大変危険です。ガス機器には、適合するガスの種類を示したラベルが貼られていますので、

- 引っ越しの際
- 新しくガス機器をお買いになるとき
- 知人からガス機器を譲り受けたとき

などには、ガス機器がガスの種類とあっているか、ご使用前に必ず確認してください。ガス機器とガスの種類があていないと、火災や不完全燃焼により一酸化炭素中毒をおこすことがあり、大変危険です。

※お住まいの地区のガスの種類については、ガス事業者にご確認ください。



AB-120(a)1……………形式
 ガス用●●●……………適合するガスの種類
 ○○kw(○○kcal/h)………ガスの消費量
 201104-0001……………製造年月・製造番号
 ○○○○株式会社……………メーカー名

チェック2

一酸化炭素中毒になることを防ぐため、ガス機器を使用する時は、換気扇を回すか窓を開けるなど換気するよう、周知に努めています。

室内でガス機器をお使いの時は 換気扇を回すか窓を開けて換気をしてください

換気不足は一酸化炭素中毒の原因となり、とても危険です！

ガスは、新鮮な空気を求めています。換気が不十分な状態でガスが燃焼すると、不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。換気扇を回すか、窓を開けるなど必ず換気をしましょう。

キッチンで

コンロや小型湯沸器の使用中は、必ず換気扇を回すか、窓を開けて換気をしましょう。

※ただし、煙突のある開放式の湯沸器・風呂がまでお風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときに、台所の換気扇などを使用すると、風呂がまの排気が浴室内などに逆流し、一酸化炭素中毒をおこす場合があります。同時使用は避けてください。

お部屋で

ガストーブの使用中は、30分に1回程度、新鮮な空気に入れ替えましょう。



出典：経済産業省HP

チェック3

現在製造されているガスコンロには、様々な安全便利機能が搭載されており、事故を未然に防いでいます。

ガス機器も古くなったらお取替えを！（安全型機器のおすすめ）

ガス機器も古くなってくると、部品が劣化し、火災や事故を起こす恐れがあります。

古いガス機器は、安全装置が搭載された、安全型機器へお取替えされることをお勧めします。

すべてのバーナーに
最新センサがつきます。 **SI** 全ロセンサー搭載
センサーコンロ

08年4月から製造されているガスコンロは、すべてのバーナーに、煮こぼれや点火ミスなどで火が消えた時にガスをストップする立ち消え安全装置、天ぷら油の温度が約250℃になると、ガスを止め火災を防止する調理油加熱防止装置、消し忘れ消火、早切れ防止機能など、安全便利機能を搭載しています。



出典：経済産業省HP

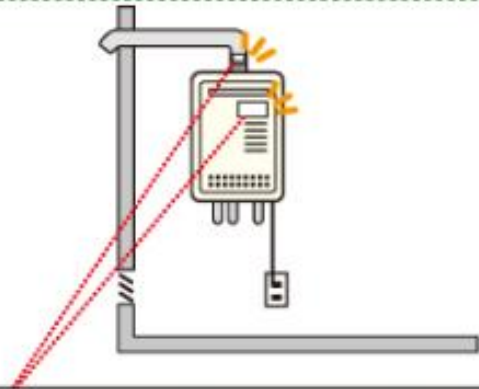
チェック4

法令により適正な給排気設備の設置が義務づけられているガス機器の工事は、施工品質を確保するため、国で定められた資格を保有した者が施工しています。

屋内のガスふろがま、湯沸器などの設置工事には、 国の資格が必要です。(ガス消費機器設置工事監督者)

給排気設備に不備があると、一酸化炭素中毒を引き起こす恐れがあることから屋内にガスふろがま、湯沸器などを設置するときは、法令により適正な給排気設備の設置が義務づけられています。

設置工事は、国で定められた資格（ガス消費機器設置工事監督者）を有する者の下で実施するか、資格を有する者が直接実施しなければなりません。（小型湯沸器を除く）



| 特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示 | |
|-----------------------------------|-------|
| 工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先 | TEL. |
| 監督者の氏名 | |
| 資格証の番号 | |
| 施工内容及び 施工年月日 | 年 月 日 |

出典：経済産業省HP

チェック5

安全機能の付いたガスメーターの普及率は全国で99.5%（平成25年3月31日時点）に達しています。安全機能の一つとして、震度5程度の地震で自動的にガスを遮断する機能を持たせ、2次災害を防止しています。

ガスメーター（マイコンメーター）の機能と表示

■地震時の機能

- ガスを使用中に強い地震（震度5相当以上）が起きたとき、自動的にガスをしゃ断します。ガスを使用していないときは、ガスをしゃ断しない機能になっています。
- 地震で配管の折損やゴム管がはずれたときなど、大量のガスが流れたとき、自動的にガスをしゃ断します。

■ガスしゃ断時の表示

- ガスの流れや圧力などに異常があると、自動的にガスをしゃ断し、原因が表示されます。

長時間の使用
又は消し忘れた時



地震が発生
した時など



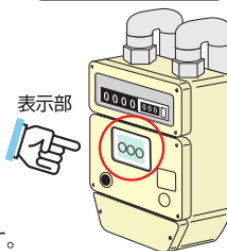
ガスの圧力が
低下した時



ゴム管が
はずれた時など



地震が発生した時など

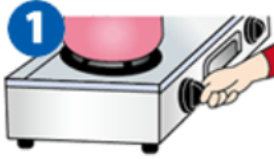
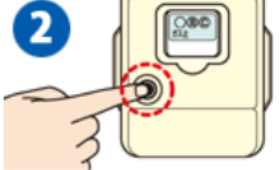




※ガス警報器とガスメーターが連動している場合、警報が鳴ったときも地震しゃ断と同じ表示になります。

チェック6

ガスメーターの安全装置によってガスを遮断した場合、早期にガス使用を再開できるようにお客さま自身で復旧することができるようにしています。

■ 復旧方法

| | | | |
|--|--|---|--|
|  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none">・ 器具栓をすべて閉めてください。・ 使っていないガスの元栓が閉まっていることを確認してください。 | <ul style="list-style-type: none">・ 左側の復旧ボタンを押してください。・ 「ガス止」の文字が消えます。 | <ul style="list-style-type: none">・ 液晶の文字とランプが点滅します。・ 1分間お待ちください。 <p>※ランプが復旧ボタン部にあるものもあります。</p> | <ul style="list-style-type: none">・ 液晶の文字とランプが消えます。・ 復旧完了です。・ ガスは使えます。 |

※復旧操作をしても復旧しない場合(再び「ガス止」表示が出る)は、復旧操作を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。

※地震時の対応については、[地震時対応LPガス保安ガイド](#)もご覧ください。

チェック7

ガス漏れ、ガス事故等の緊急時に備え、災害防止、災害の拡大防止のための緊急時対応体制を構築しています。

チェック8

ガスを安全にお使いいただけるよう、ガス使用開始時、容器交換時、または定期的にガス管、ガス器具、給排気、ホースなどの点検・調査を行っています。

■ 周知

使用上の注意点や事故を起こさないための情報などを定期的に文書でお知らせします。



年1回(または2年に1回)行います。

■ 緊急時連絡と緊急時対応

ガス漏れなどの時、すみやかに対応します。



緊急時の連絡先は夜間・休日も対応します。
緊急時は30分以内に無料対応します。

■ 供給開始時点検・調査

ガス器具も含めたLPガス設備全体の点検・調査を行います。



供給開始時に1回行います。

■ 容器交換時等供給設備点検

容器の転倒防止の確認など、容器周りの点検を行います。



容器の交換時に(または月1回以上)行います。

■ 定期供給設備点検

ガス漏れの有無など、調整器からガスメーターの供給設備の点検を行います。



4年以内に1回行います。

■ 定期消費設備調査

ガス器具、給排気、ホース、配管などの消費設備の調査を行います。



4年以内に1回行います。